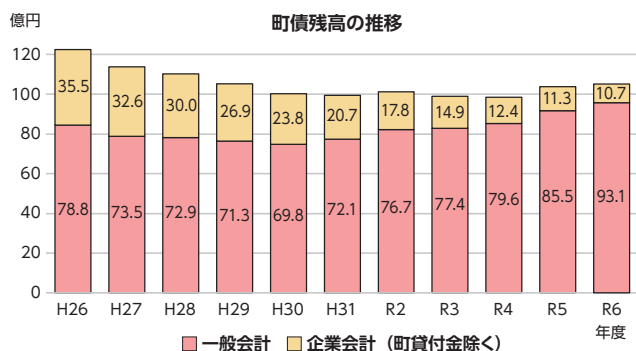


■町の借入金について



■町民1人あたりの借入残高

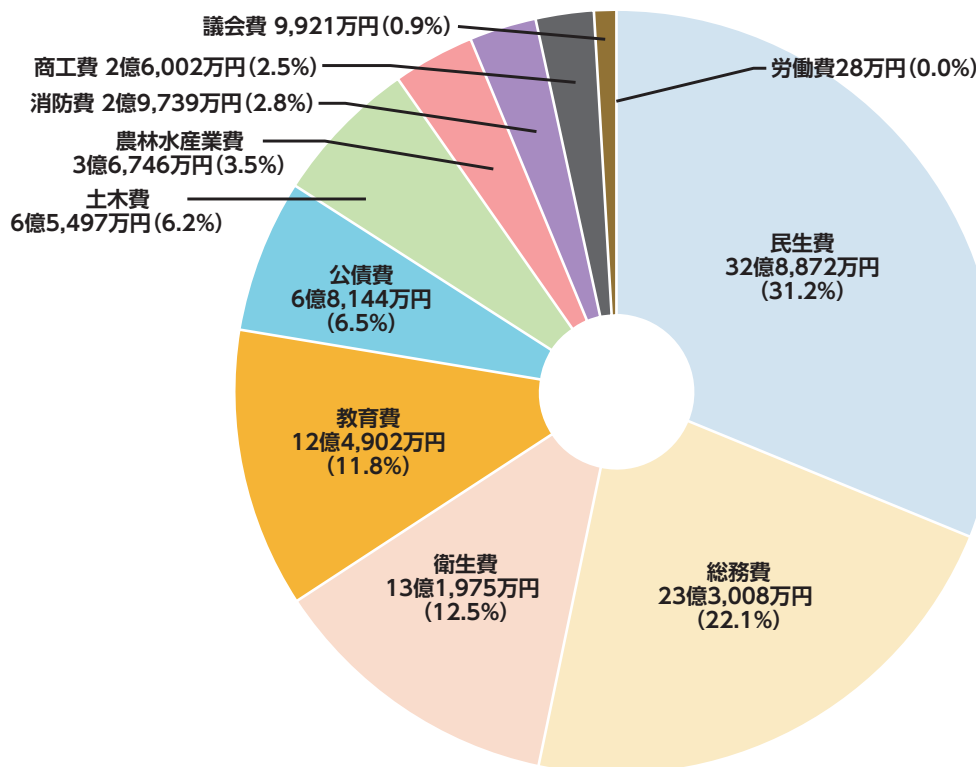
一般会計の町債残高	93 億 1,171 万円	1人あたり
公営企業の町債残高	10 億 6,818 万円	643,196円
計	103 億 7,989 万円	(前年度 45,728円増)

※令和7年4月1日現在の現住人口 16,138人

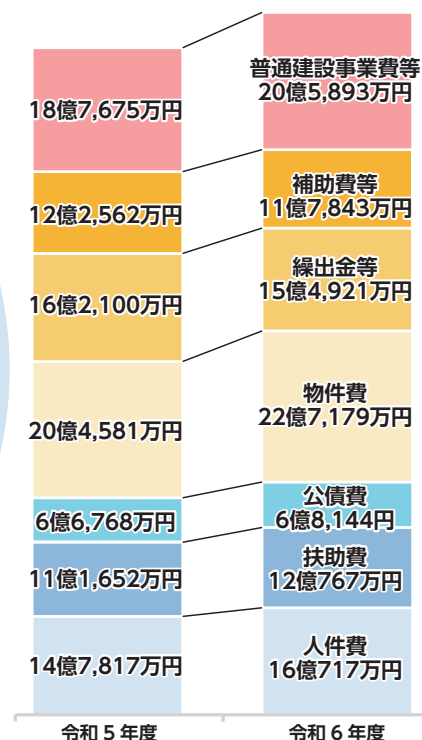
■借入残高の内訳

土木関係	25 億 1,032 万円	衛生関係	5,021 万円
農林水産関係	1 億 3,448 万円	総務関係	16 億 6,177 万円
教育関係	13 億 7,899 万円	災害復旧関係	1 億 9,181 万円
公営住宅関係	2 億 1,360 万円	その他	13 億 1,799 万円
厚生福祉関係	12 億 1,714 万円	水道事業	420 万円
消防関係	6 億 3,540 万円	下水道事業	10 億 6,398 万円

■歳出（目的別）の内訳



■歳出（性質別）の推移



■歳出の特徴

▶目的別

民生費では、低所得世帯支援給付（定額減税調整給付）等により、前年と比べ2億2,331万円増額の32億8,872万円となりました。総務費では、アウトドア・アクティビティ拠点施設整備事業等により、前年と比べ3億628万円増額の23億3,008万円となりました。

▶性質別

物件費では、アウトドア・アクティビティ関連業務や岩江こども園関連業務等により、前年と比べ2億2,598万円増額の22億7,179万円となりました。普通建設事業費等では、アウトドア・アクティビティ拠点施設整備事業や岩江こども園整備事業等により、前年と比べ1億8,218万円増額の20億5,893万円となりました。

■健全化判断比率等の公表

地方公共団体の財政の健全性を判断するための指標があります。

指標	数値	解説
①実質赤字比率	赤字ではありません	市町村の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。
②連結実質赤字比率	赤字ではありません	全ての会計の赤字・黒字を合算し、市町村全体としての赤字の程度を示す指標です。
③実質公債費比率 (3カ年平均)	7.8% (前年度 0.1%増)	市町村の借入金の返済分等の大きさを指標化し、財政負担を見るための比率です。
④将来負担比率	55.5% (前年度 31.2%増)	市町村の借入金や将来支払いが見込まれる負債分を指標化し、将来の負担を示すものです。
⑤資金不足比率 (病院事業)	1.1% (前年度 1.0%減)	公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率を示し、経営状況を把握するものです。(水道・下水道事業等、病院事業、宅地造成事業)

■主な町税などの徴収率

区分	収入金額	収入未済額	徴収率	前年比
個人町民税	現年度分 6 億 1,422 万円	216 万円	99.65 %	▲ 0.08
	滞納繰越分 113 万円	631 万円	14.62 %	▲ 1.71
固定資産税	現年度分 8 億 9,694 万円	141 万円	99.81 %	0.00
	滞納繰越分 89 万円	209 万円	25.94 %	▲ 5.29
国民健康保険税	現年度分 2 億 7,031 万円	490 万円	98.14 %	0.14
	滞納繰越分 418 万円	1,237 万円	22.29 %	1.89
町営住宅使用料	現年度分 5,642 万円	73 万円	98.72 %	▲ 0.58
	滞納繰越分 52 万円	29 万円	63.97 %	4.60